

(新規設備紹介:公益財団法人JKA令和元年度機械振興補助事業)

— 紫外可視近赤外線分光光度計・精密鏡面研磨機 —

奈良県産業振興総合センターでは、令和元年度公益財団法人JKAの「機械振興補助事業」を活用して、紫外可視近赤外線分光光度計と精密鏡面研磨機を設置しました。紫外可視近赤外線分光光度計は、紫外～赤外波長の幅広い領域で有機物の分析を行い、分析対象物の材質を推定することができ、各波長に対する光の透過率を測定することもできます。精密鏡面研磨機は、曲面形状や三次元形状の金属部品等の鏡面仕上げ、微小なバリ取り作業や外周面のエッジ仕上げ作業ができます。多くの県内企業さまのご利用をお待ちしております。

紫外可視近赤外線分光光度計と精密鏡面研磨機の主な仕様諸元については、下記のとおりです。

担当：生活・産業技術研究部 繊維・毛皮革・高分子グループ（紫外可視近赤外線分光光度計）
機械・計測・エネルギーグループ（精密鏡面研磨機）

装置のメーカー／型番など

装置名：紫外可視近赤外線分光光度計

型番：FT/IR6600 一式

メーカー：日本分光株式会社

主要諸元

赤外領域部(FT/IR6600)

本体サイズ 幅600、奥行690、高さ315

測定波数範囲 7800～350cm⁻¹

赤外顕微鏡部(IRT-7200)

本体サイズ 幅280、奥行695、高さ560

測定波数範囲 リニアアレイ検出器7000～650cm⁻¹

単素子検出器7800～600cm⁻¹

測光方式 透過・反射測定

オートフォーカス 標準

紫外可視近赤外領域部(V770)

本体サイズ 幅460、奥行602、高さ268

測定波長範囲 190～2700nm

測光範囲 -4～4Abs(紫外可視)

-3～3Abs(近赤外)

0～10000%T

装置のメーカー／型番など

装置名：精密鏡面研磨機

型番：AERO LAP YT-100型

メーカー：日本スピードシヨア株式会社

主要諸元

試験機本体

本体サイズ 幅470、奥行780、高さ1300

キャビンサイズ 幅280、奥行130、高さ180

空気圧 常圧0.5MPa

研磨方式・研磨メディア・研磨対象

研磨方式 湿式研磨

研磨メディア ダイヤモンド砥粒複合マルチコーン

研磨対象 鉄鋼材、非鉄材、超硬材

装置本体の外観



この設備機器は、公益財団法人JKAの機械振興補助事業により導入・設置しました。



装置本体の外観



この設備機器は、公益財団法人JKAの公設工業試験研究所等共同研究補助事業により導入・設置しました。

